令和8年度　学校だより

まえばる

まごころで学び
えがおでふれあい
ねばりづよくがんばる子

題字：小川　啓華様

令和8年11月19日（木）
NO.11

糸島市立前原小学校
校長　重冨　紀子

児童会活動「笑顔の花束」が広がっています



児童会総務委員会が、「いいところ見つけボックス」を設置してくれています。友達の優しさや頑張り、素敵な行動に気付き、それを言葉にして伝え合う取組です。給食時間の校内放送では、ボックスに入ったメッセージが紹介され、学校中が温かい気持ちに包まれる時間となっています。

人は誰でも、認められたり褒められたりすることで自信をもち、自分のよさや強みを伸ばしていくことができます。だからこそ、子どもたち同士だけでなく、私たち大人も積極的に子どもたちのよさを見つけ、言葉にして伝えていきたいと考えています。失敗や課題を指摘するだけでなく、結果だけを評価するのではなく、「自分でめあてを立てて取り組んだことが次につながるね」「最後まで頑張ったね」「友達を助けていて素敵だったよ」と、努力や工夫、思いやりなど、その子らしいよさや強みに目を向け、積極的に言葉にして伝えていきたいものです。日々の小さな成長やよさを伝えることが、子どもたちの自己肯定感や挑戦する力を育てることにつながります。



学校でも家庭でも、子どもたちのよさや成長の過程を大切にしながら、互いに認め合う温かな言葉があふれる環境をつくっていきたいと思います。総務委員会の取組をきっかけに、みんなで「いいところ探し」を広げていきましょう。

縦割り掃除が始まりました

「縦割り掃除」が始まりました。「雑巾は、こうして!!もっとねじって」「上手上手」「いっしょに持とう」上級生の掃除の仕方を優しく教える声や応援する声があちこちで聞かれます。縦割り掃除の日は、いつもより取り掛かりもはやいようです。下級生は上級生の姿から掃除の方法だけでなく、責任感や思いやりの心も学んでいます。



縦割り掃除は、校内をきれいにするだけでなく、学年を超えたつながりを深める活動です。互いに声を掛け合い、協力しながら取り組む姿から、子どもたちの成長を感じています。



１２月１２日(土)　人権フェスタ in まえばる 2026!!

本年度は、趣を変え、各学年による人権学習や国際理解に関する授業公開を行うとともに、学校内及び前原コミュニティセンターに設置された体験ブースを巡りながら、世界のさまざまな文化や価値観に触れる活動を実施します。

人権について考えることは、特別なことではなく、一人一人の違いを認め、相手を大切にすることから始まります。子どもたちが学び、体験しながら多様性への理解を深める貴重な機会となります。保護者の皆様、地域の皆様には、子どもたちの学びの様子をご覧いただくとともに、人権や共生社会について一緒に考える機会にしえていただければ幸いです。

各学年において、人権や国際理解をテーマとした学習を公開します。子どもたちが人との違いや多様な価値観について学び、互いを尊重しながら共に生きる社会について考える姿をご覧いただきます。

子どもたちが、学校内および前原コミュニティセンターに設置された体験ブースを巡り、世界のさまざまな国や地域の文化、言語、遊びなどに触れる活動を行います。多様な文化への理解を深めるとともに、人との違いを認め合い、共に生きることの大切さについて考える機会とします。

	参観（各教室）	体験学習（体育館・特別教室・前原コミュニティセンター）
8:40～ 9:25		準備
9:30～10:15	1年・6年	3年・4年
10:30～11:15	2年・5年	1年・6年
11:20～12:05	3年・4年	2年・5年

